

第32回記念 一線美術会常総支部展

- 会 期…令和2年6月30日(火)～7月5日(日)
- 会 場…茨城つくば美術館
- 後 援…つくば市教育委員会
- 来場者…390名

第32回常総支部展が開催されました。

例年の会場が工事の為、突然の変更を余儀なくされ、茨城つくば美術館に変えての開催となりました。

また、今年は、新型コロナウイルスの嵐の最中にあり、実施中止か思案の末での開催決定で感染阻止策のあれこれも加わって大量の支部展でした。こんな条件の中、16名80点に迫る作品(100号以上24点)が寄せられ、広すぎると思

われた会場が狭く感じられる程の熱気のある展示となりました。これは常総支部員の、熱意の投影であり、本展に臨む姿勢の現れと見ております。

会期中には、高木・根岸両副理事長を始め、本部役員や支部の諸先生方のご来場を仰ぎ、丁寧なご指導を頂いた他、中野中先生も遠路お越し下さり、率直なご感想を伺うことができました。

当支部展は、開催時期の関係で、本展出品作品の中途チェックの意味合いもあり、先生方の評を真剣に聞く姿が印象的でした。そしてこの昂揚した思いをそのまま、本展にぶつけるべく、気持ちを新たにしました次第です。

美術館としても、今年度初の展覧会ということで、全面的な協力を頂きました。



コロナ騒動の折、展覧会の中止が相次ぐ中であって、思った以上に盛況裡に終了することができ、支部員一同記憶に残る支部展となりました。

常総支部長 長谷川 肇

